

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 24 日

Table with columns for project name, policy system position, financial system position, and budget items. Includes details for 'Demand Taxi Operation' and 'Road Improvement and Network Enhancement'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (概要) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Contains detailed description of taxi service and operational procedures.

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for activity indicators like '勤働日' and '人口', and target indicators like '延べ利用者数'.

Table for (3) 投入量 (事業費) の推移. Shows financial data for 27, 28, 29, 30, and 31 years, including categories like '国庫支出金' and '事業費計'.

Table for (4) 当該年度の実施内容. Compares 29年度 and 30年度の事業内容, listing specific activities like 'Demand Taxi Operation' and 'Regional Public Transport Meeting'.

事務事業名	デマンド交通運営事業	事務事業No.	40604000292	所属課	企画課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 路線バスの撤退などによる交通空白地への対応と併せて、合併後の地域公共交通事業の再編のために、新交通システムの導入を検討した。平成20年度から、それまで実施していた高齢者福祉タクシー利用料金助成事業、福祉巡回バス運行（岩瀬地区のみ）を廃止し、デマンド型乗合タクシーを導入した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 安い料金で、移動できるため、とても助かっている。という意見は多い。特に、通院機会の多い高齢者の方や、市街地から少し離れた地区に住んでいる方、親が共働きの子どもの移動に利用されている方から喜ばれているようである。 要望としては、「土日祝日も運行してほしい」、「市外まで運行エリアを拡げてほしい」などがある。 また、待ち時間や移動所要時間についての不満もある。一方で、利便性の向上は、タクシー事業者を圧迫するとの意見もある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・新システム導入により、効率的な配車が可能となったが、それを補助金に反映し経費削減することができない仕組みになっていることから、制度の見直しが必要である。 ・これ以上の利便性の向上は民間タクシー事業者の経営を圧迫するため、不可能と考える。市民に公平により利便性の高いサービスを提供するには、根本的な制度の見直しが必要。 ・デマンドタクシーの運行形態の見直しを含め、公共交通政策の検討には、地域公共交通会議での協議が必要。 ・タクシー事業者等の関係機関との調整が必要。
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 交通弱者の移動手段の確保は、市民の安全かつ快適な生活に必要な不可欠なものであり、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 交通弱者の移動手段の確保は、市民の安全かつ快適な生活に必要な不可欠なものであり、公共性が高いため妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない デマンド交通システムの周知徹底をすることによって、市民の方がスムーズに利用できるようになり、利用者の増加にも結びつく。利用者の動向を分析し、今後の運営の在り方について検討していく。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 他の公共交通がない現状では、車の運転ができないような交通弱者の移動が困難となる。 （一般のタクシーは利用できるが、定期的な通院等において金銭的な負担が大きくなってしまふ。）
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 民間病院等が運営する送迎サービスはサービス形態が似ていることから、連携策が講じられる可能性はある。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 曜日・時間帯によって、利用数に偏りがあるため、時間帯を限定した減車や、また利用者数が徐々に減少していることから、常時の減車についても検討の余地あり。事業主体は商工会であり、最低限の人員で対応しているため、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者一人あたりの費用が高いため、受益者負担の観点から、運賃や運行形態の改善を検討する必要がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	交通弱者の移動手段の確保として、デマンドタクシーは非常に有効なシステムである。タクシー事業者と協議を重ね、車両借上げに係る料金制度の一部見直しを行ったことで、経費を削減することができた。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持	○																								
	低下																									
・新システム導入により、効率的な配車が可能となったが、それを補助金に反映し経費削減することができない仕組みになっていることから、制度の見直しが必要である。 ・これ以上の利便性の向上は民間タクシー事業者の経営を圧迫するため、不可能と考える。市民に公平により利便性の高いサービスを提供するには、根本的な制度の見直しが必要。 ・デマンドタクシーの運行形態の見直しを含め、公共交通政策の検討には、地域公共交通会議での協議が必要。 ・タクシー事業者等の関係機関との調整が必要。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う）	確認欄 <input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出